

# 第一回打ち合わせ資料

MIRS2504

PM 須藤 蒼哉 TL 児玉 拓海

荒 浩佑 乾 琥珀 岡田 拓士 岡本 直也 本間 慧大 山田 凰嘉

# 目次

## 1. 案内ロボット

- 1.1 想定したペルソナ
- 1.2 リーンキャンパス
- 1.3 利点および懸念点

## 2. 受付ロボット

- 2.1 想定したペルソナ
- 2.2 リーンキャンパス
- 2.3 利点および懸念点

## 3. 巡回ロボット

- 3.1 想定したペルソナ
- 3.2 リーンキャンパス
- 3.3 利点および懸念点

## 4. PoC構想

# 1. 案内ロボット

## 1.1 想定したペルソナ

名前: 李玄

年齢: 46歳

性別: 男性

背景: 4人家族で妻は42歳、子供が  
中学2年生と小学6年生  
の姉妹である中国人。

来日は3回目で  
妻は日本語が話せるが  
本人は話せない。



## 1.1 想定したペルソナ

生じうる問題

妻が手を離せないときに言語の壁によって  
一人で行動できない

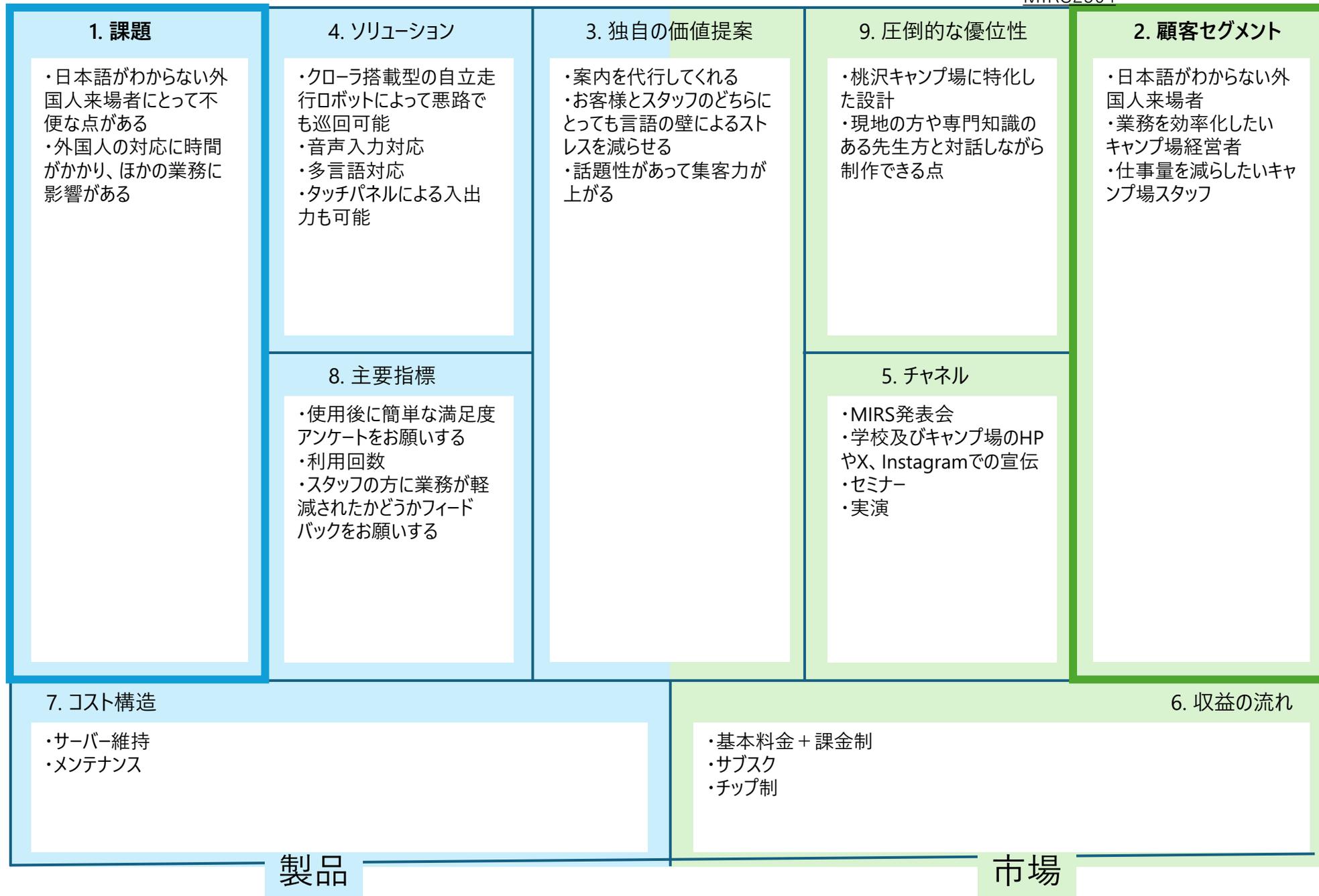
スタッフの対応時間が伸びて  
ほかの業務に影響が出る

## 1.1 想定したペルソナ

ソリューション

日本語がわからない外国人利用者と  
コミュニケーションが取れる  
巡回型の案内ロボットの導入

# 1.2 リーンキャンバス



## 1.3 利点および懸念点

### ✓ 利点

- キャタピラの悪路走破能力を最大限生かせる
- 言語の壁をなくせる

### ✗ 懸念点

- 明確な需要がない
- 音声入力と返答の精度

## 2. 受付ロボット

## 2.1 想定したペルソナ

名前: 山田五郎

年齢: 31歳

性別: 男性

背景: 桃沢キャンプ場の職員で、主に受付と案内を担当している。

海外からの宿泊客も多く、言語の壁に悩まされている。

受付の窓口が少ないため、混雑する時間では受付が間に合わない。



## 2.1 想定したペルソナ

生じうる問題

受付での待ち時間が長くなることで  
満足度が低下してしまう

受付業務が忙しくて  
ミスの発生確率が上がる

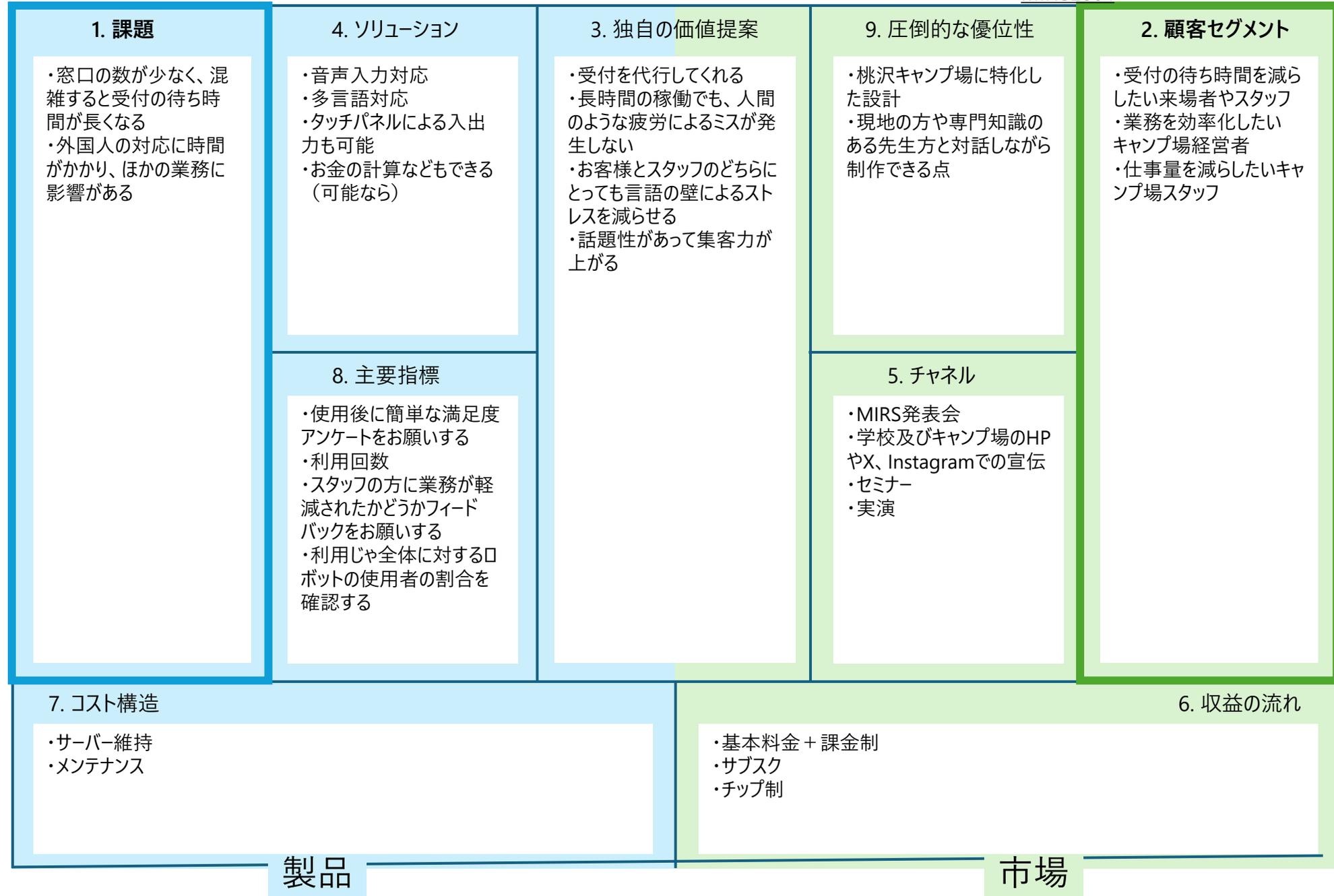
## 2.1 想定したペルソナ

ソリューション

受付を代行でき、多言語に対応した  
ロボットによる業務の効率化

## 2.2 リーンキャンバス

チーム  
MIRS2504



## 2.3 利点および懸念点

### ✓ 利点

- 明確かつ大きなニーズがある
- 言語の壁をなくせる
- 有用性が確認しやすい
- 使ってもらえる機会が多い

### ✗ 懸念点

- キャタピラの強みを生かしきれない
- 音声入力と返答の精度
- お金関連のことについて責任を負えない

# 3. 巡回ロボット

## 3.1 想定したペルソナ

名前: 田中宏

年齢: 43歳

性別: 男性

背景: 桃沢キャンプ場の職員で、  
主に売店業務を担当している。

売店業務と巡回の  
兼任に苦勞している。



## 3.1 想定したペルソナ

生じうる問題

巡回中に売店での接客ができない

特に夜の巡回は足元が暗くて  
危険である

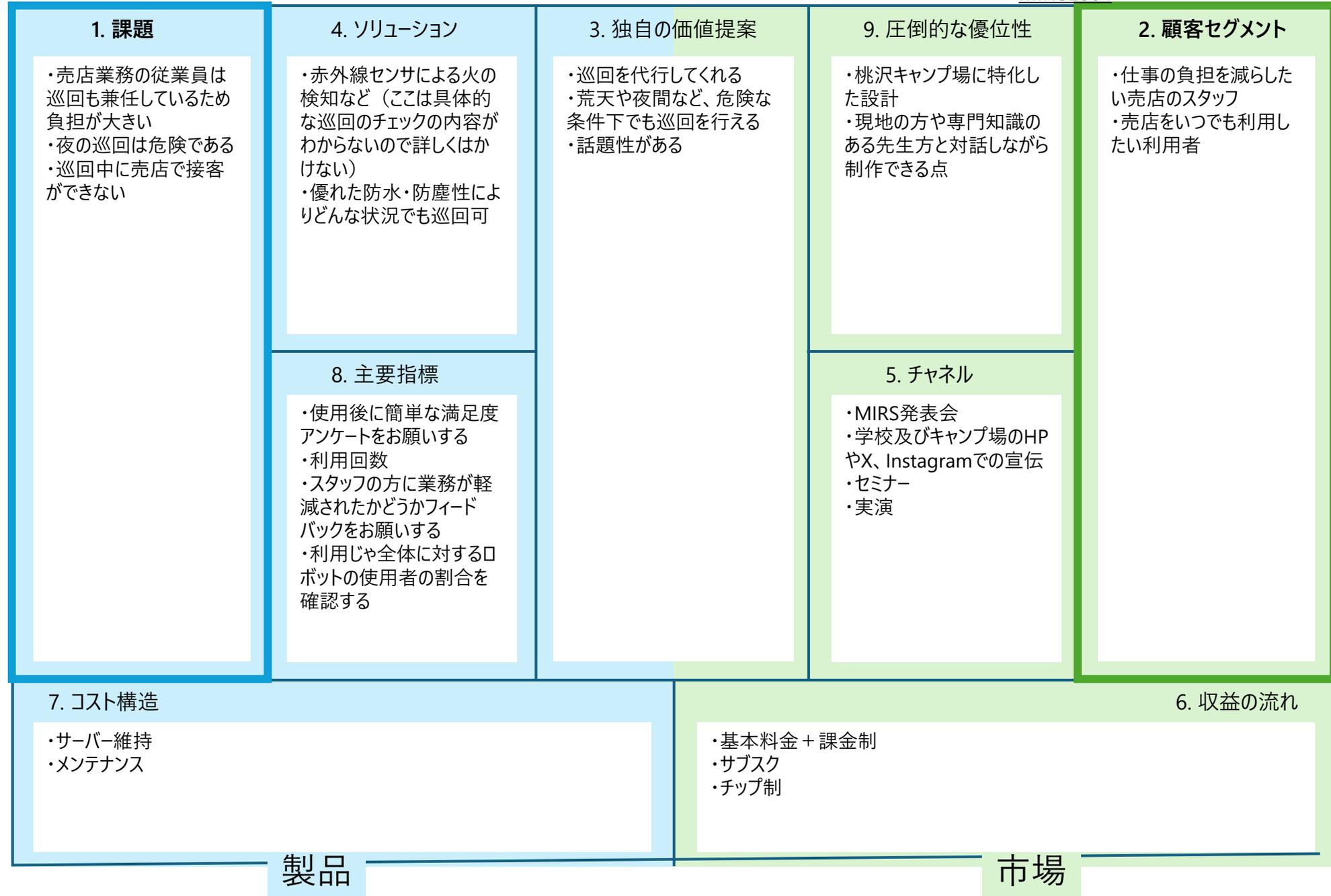
## 3.1 想定したペルソナ

ソリューション

悪路走破性に優れたクローラ搭載型ロボット  
による巡回業務の代行

## 2.2 リーンキャンバス

チーム  
MIRS2504



## 3.3 利点および懸念点

### ✓ 利点

- 明確なニーズがある
- あまりお客様とかがかわらないので、自然と触れ合う体験の邪魔をしない
- キャタピラの強みを生かせる

### ✗ 懸念点

- ニーズが若干限定的
- フィードバックをしてくれる人が少ない

# 4. PoC構想

## 4. PoC構想

### PoCの目的

キャンプ場の受付と案内業務をロボットに代行させ、  
従業員の負担軽減と来場者の満足度アップを図る

### 検証内容

- ・ロボットによる案内、受付の需要
- ・受付時間がどれほど短縮できるか(受付ロボット)
- ・使用者の満足度
- ・スタッフの負担がどれだけ減らせるか

## 4. PoC構想

### 検証環境

受付窓口(受付)と屋外(案内、巡回)で、  
特に混雑する曜日・時間帯で2、3日稼働させる

## 4. PoC構想

### 成功基準

- ・受付の待ち時間(受付)および対応時間(案内)の30%短縮
- ・使用回数を全体の受付人数と比較して使用率を算出し、それが30%以上になる(受付)
- ・満足度を5段階評価してもらい、平均4以上
- ・巡回によって従業員が売店に不在になる時間をなくす(巡回)
- ・赤外線センサやカメラで火や人を検出する(巡回)

## 4. PoC構想

### リスクと対策

- ・お客様がロボットを利用してくれるかわからない  
→混雑する時間帯で検証する
- ・音声入力の正確性に不安が残る  
→タッチパネルと併用
- ・お金をカウントする方法(受付)
- ・クローラのメンテナンスと走行音の問題
- ・防塵・防水性能

ご清聴  
ありがとうございました